

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		都市型ビジネスの立地促進				整理番号	131		枝番号				
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503		連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	132		
係名					アニメ・新産業係					上位施策名		No	
予算事業名					みどりの産業の振興					コード		17500	
										新しい産業の育成・支援		44	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区創業支援施設運営要綱 (2) 杉並区産業振興計画 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				創業を予定している個人、もしくは法人、または、創業後3年未満の個人、法人、起業に興味のある中高生。								
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入居事業所数 (2) セミナー参加者数								
				活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 創業を予定している方に対し、SOHO事務所を貸す。創業を予定している方に対し、セミナーを開催することで基礎的な知識や情報を提供する。創業に興味のある中高校生を対象に講座を開催し、将来起業する意識を育む。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区内で創業、起業したいという気運を高めることにより、都市型ビジネス事業所の開設を促し活気あふれるまちづくりに貢献する。					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		所	9	8	9	9	9	9	100.0			
	活動指標(2)		人	46	197	220	212	200	200	106.0			
	成果指標(1)		所	9	8	9	9	9	9	100.0			
	成果指標(2)		件	5,327	5,327	6,327	4,982	6,327	6,327	78.7			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,188	7,537	21,306	12,958	15,640	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標(2)の「創業、起業数」は事業所統計調査の業種選定範囲が変り、対象業種が減ったため減少している。				
	(内)委託費		千円	0	3,000	3,000	3,000	3,400					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.84	1.03	1.03	0.83	0.83					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,630	9,264	9,373	7,553	7,553					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	36,818	16,801	30,679	20,511	23,193					
	単位あたりコスト ÷		円	4,090,889	2,100,125	3,408,778	2,279,000	2,577,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	36,818	16,801	30,679	20,511	23,193						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%	96.4	16年度予算執行率%	60.8					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	キック・オフ/オフィスは、JR阿佐ヶ谷駅前という立地条件および施設内の情報通信環境も高く入居者からも好評である。入居者の事業分野は異なっているが、それぞれの特徴を結ぶネットワークができ、共同の事業もおこなっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	創業セミナーは、受講者によって起業意識に差があるため、受講者のニーズにあった講座内容を望んでいる。
	今後の予測	今後、団塊の世代の人達が地域に戻ってくることが予想されるため、その人の持っている能力やネットワークなどを活用したコミュニティビジネスの需要が増えると思われる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 専門能力を持った団塊世代が果たす役割は地域の課題解決に有効となるため、コミュニティビジネスの創業・起業を決断する際のきっかけとなる。 理由または具体的内容:
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すでに適正な応分負担をお願いしている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: すでにNPO等に事業の委託を行っているため、コストを抑えるのは困難である。予算の中で内容の充実を図っていきたい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: コミュニティビジネスセミナーは15年度から、創業セミナー、中高生起業家セミナーは今年度よりNPO等に委託をする。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み セミナーの運営、開催今年度よりすべてNPO等に委託を行い、今後も継続の予定。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 創業セミナーは、受講者によって起業意識に差があるため、起業意識別に講座を開催することで、創業・起業希望者のニーズに答えられる。 コミュニティビジネスセミナーは、団塊の世代が地域に戻ってきたときに地域で活躍できる基盤づくりのためにも重要である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 それぞれの講座に適したノウハウをもつNPO等を見つけ出し、連携をしていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現在実施しているSOHO事業所の貸出事業、コミュニティビジネスセミナー、創業セミナー、中高生起業家セミナーについては、現状の予算規模の中で内容を見直し、NPO団体等と連携を図りながら実施していく予定。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(アニメイベント)				整理番号	133		枝番号		
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503	連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	134	
係名					アニメ・新産業係			上位施策名		No	
予算事業名					アニメの杜すぎなみ			新しい産業の育成・支援		44	
事業開始年度					○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1)				
区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある方							(2)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					アニメ産業の発展・支援のため、区内アニメ事業者のPR支援 アニメ専門学校紹介事業 アニメ作品上映 アニメーションの理解を深めるための子ども向けのワークショップ 等に取り組む。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
活動指標名(式)					(1) アニメーションフェスティバル来場者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		
					(1) アニメーションフェスティバル来場者数		(2)				
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		社	8,238	8,850	10,000	6,930	7,000	10,000	69.3	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	8,238	8,850	10,000	6,930	7,000	10,000	69.3	
	成果指標(2)		人								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,364	7,128	8,000	8,000	8,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.26	1.61	1.61	0.52	0.52			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,445	14,480	14,651	4,732	4,732			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	17,809	21,608	22,651	12,732	12,732			
	単位あたりコスト ÷		円	2,162	2,442	2,265	1,837	1,819			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	2,053						
		特定財源計 +		千円	2,053	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	15,756	21,608	22,651	12,732	12,732				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	69.3	活動指標(2)の16年度達成率%	#VALUE!	16年度予算執行率%	100.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度に第1回アニメーションフェスティバルを開催以来、4回開催してきたが、アニメーション産業の支援・情報発信・普及啓発に貢献を果たしてきた。3月には、杉並アニメーションミュージアムが開館し、今まで以上に多くの情報を発信していくことができるようになる。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	アニメーションフェスティバルや小学校の土曜日学校等で、パラパラアニメやクレイアニメのワークショップに対する参加も多く、アニメーション制作を体験したいという要望が多い。
	今後の予測	杉並区のアニメーションフェスティバル開催以来、東京都を始め、練馬区や武蔵野市等周辺地域でも開催するようになった。今後は、各市区が連携して開催することにより、「世界一のアニメ産業集積地」であることをPRすることができる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 今年度、5回目を迎えるアニメーションフェスティバルは、アニメーション産業のPR・アニメの普及に大きな貢献をしてきた。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:従来、アニメーションフェスティバルは、単独イベントとで催してきたが、杉並アニメーションミュージアムの企画展等と連携して開催することにより、内容を充実させることができる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 現在は、入場料等無料で開催しているが、ワークショップの材料費などは自己負担してもらう方向で検討していく。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: アニメーションミュージアムの企画展との連動や練馬区や三鷹市、武蔵野市等と連携して開催することにより、内容の重複を避けることができる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 区内の中小アニメスタジオが加盟している杉並アニメ振興協議会や東京商工会議所杉並支部等が実行委員会に参加している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 現在は、区が主体となり、杉並アニメ振興協議会や東京商工会議所杉並支部の協力を得て開催しているが、今後は、アニメーションミュージアムの運営を委託している日本動画協会や日本アニメーション協会、日本アニメーション学会等との連携を充実させ、団体主体の事業とするように調整を行う。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在は、区が主体となり、杉並アニメ振興協議会や東京商工会議所杉並支部の協力を得て開催しているが、今後は、アニメーションミュージアムの運営を委託している日本動画協会や日本アニメーション協会、日本アニメーション学会等との連携を充実させ、団体主体の事業とする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 アニメ制作会社は、本来の業務が多忙のため余裕が無く、フェスティバルなどの事業に割く時間が取れない状況である。今後は、フェスティバルのプロデュースを担当したアニメーターに費用弁償する等参加意欲を持たせることが必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 杉並アニメーションミュージアムの運営を日本動画協会に委託しているため、従来のように杉並アニメ振興協議会だけでなく、日本動画協会とも連携して開催する。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメの杜すぎなみ構想の推進(人材育成)				整理番号	134		枝番号			
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503		連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	135	
係名		アニメ・新産業係				上位施策名			No			
予算事業名		アニメの杜すぎなみ		コード	17700		新しい産業の育成・支援			44		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		14 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1)							
	アニメーターを目指す個人		(2)									
	アニメーターを目指す個人		(3)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並アニメ振興協議会加盟スタジオで、実習形式の研修(6ヶ月間)を行う。 アニメーターのレベルアップを図るため、講演会等を実施する。 アニメーターを目指す人を対象に、動画を中心にアニメ制作の技術を磨くための「アニメ匠塾」を開講する。										
活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 動画作成の工程が韓国や中国に下請けに出され、空洞化してきている「作画」技術者の人材育成を行うことにより、制作会社への雇用につなげることを目的とする。あわせて、アニメーター等のレベルアップを図る。										
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 研修生一人あたり費用 (2) 研修生受入れ数										
		(1) 研修修了者の内、実際にアニメ制作会社に就職した人の割合 (2)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		千円	892	470	500	586	500	400	146.5		
	活動指標(2)		人	4	6	8	7	8	10	70.0		
	成果指標(1)		%	75	83	90	80	88	90	88.9		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,573	2,643	4,000	3,320	4,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	3,560	2,643	4,000	3,320	4,000				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.85	0.50	0.50	0.52	0.52				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,721	4,497	4,550	4,732	4,732				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	11,294	7,140	8,550	8,052	8,732				
	単位あたりコスト ÷		円	12,661	15,191	17,100	13,741	17,464				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	11,294	7,140	8,550	8,052	8,732					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	117.2	活動指標(2)の16年度達成率%	87.5	16年度予算執行率%	83.0					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度は研修生6名(5名が就職)、昨年度は研修生7名(5名が終了)した。また、研修生の受入れ制作会社が、平成16年度から従来の3社から6社に増えた。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	日本のアニメーターの労働環境が悪く、人材が不足し空洞化が進んでいる実態とともに、杉並区が人材育成に力を入れていることが、マスコミなどを通じて多くの人にも知られるようになってきた。このことにより、区民等から「杉並アニメ匠塾」に対する応援の声が多く寄せられるようになってきた。
	今後の予測	アニメの製作費が増えない現状では、今後、ますます空洞化が進み、日本のアニメーター不足が加速していくことが予想される。そのため、優秀なアニメーターの育成が業界として大きな課題となっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: アニメ業界全体としてはデジタル化が進んでいるが、原画等の作画部門の人材が不足している。しかし、アニメ制作会社は中小企業が多く、余裕が無いため企業内研修ができない状況である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 現在は杉並アニメ振興協議会に委託しており、受入れ制作会社を増やすことは難しいが、今後は、日本動画協会との連携も強くなるため、振興協議会加盟制作会社以外も含めた展開をすることにより、研修生の定員を増やすこともできる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 現在のような制作会社での研修だけでなく、講演会等の機会を増やすなどカリキュラムの充実を図ることにより、研修参加費を徴収することも可能となる。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 現行予算で受入れ研修生を増やすことにより、一人あたりのコストを下げることは可能。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 杉並アニメ振興協議会に研修生の指導を委託している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 現在のように、区が委託するのではなく、業界団体が主体となり実施することにより、より多くの人材を育成することが可能になると思われる。ただし、中小企業が多く余裕がない、また、人材の流動性が高いという状況もあり、人材育成に力を入れる所が少ないので、区の支援は必要である。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在は、杉並アニメ振興協議会に指導を委託しているが、今後は、日本動画協会等とも連携をとることにより、定員を増やしていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在のように、杉並アニメ振興協議会加盟制作会社だけでなく、より多くの制作会社で受け入れてもらえるように交渉を進める。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	従来のように杉並アニメ振興協議会だけではなく、日本動画協会とも連携して実施することにより、現行予算で研修生を増やすように交渉を図る。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		アニメ資料収集・展示				整理番号	135		枝番号	
担当部課名		区民生活部産業振興課		コード	051503	連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	136
係名					アニメ・新産業係			上位施策名		No
予算事業名					アニメーションミュージアム運営			新しい産業の育成・支援		44
事業開始年度					○昭和 ●平成		15年度			
事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等 (1) (2) (3)			
区民、アニメ産業関係者、アニメに関心のある人										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
アニメの歴史や制作工程を、デジタルワークショップコーナー等を配列し、順序だててアニメについて学び、体験し、理解できる施設として整備する。また、アニメーターやアニメ監督などの人物アーカイブをはじめ、アニメ関連資料を収集していく。					区内の小学生をはじめ、多くの人々が来場し、アニメーションの制作工程や歴史を知るとともに、アニメ産業に対する理解を深めてもらう機会を提供する。					
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 年間来場者数					(1) 一日あたり来場者数					
(2) 開館日数					(2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		人	5,246	15,000	10,694	50,000	60,000	17.8	
	活動指標(2)		日	308	149	23	305	308	7.5	
	成果指標(1)		人	17	100	465	164	195	238.5	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,525	84,250	101,412	48,777	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) アニメーションミュージアムは、3月5日に開館したため、1カ月間の来館者数を活動指標として掲載した。		
	(内)委託費		千円	6,017	84,250	86,004	44,065			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50	0.50	0.52	0.52			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	4,497	4,550	4,732			4,732
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	0	16,022	88,800	106,144			53,509
	単位あたりコスト ÷		円	3,054	5,920	9,926	1,070			
	財源	受益者負担分		千円						2,850
		国・都等からの支出金		千円			58,000			
		特定財源計 +		千円	0	0	0			58,000
差引:一般財源 -		千円	0	16,022	88,800	48,144	50,659			
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	5.3			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	71.3	活動指標(2)の16年度達成率%	15.4	16年度予算執行率%	120.4		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年4月1日に、アニメーションの文化及び産業の振興を図るため、「杉並アニメ資料館」を設置したが、杉並区アニメーション振興の核となる施設として拡充し、平成17年3月5日に「杉並アニメーションミュージアム」として開館した。また、運営を日本動画協会に委託している。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	日本のアニメの歴史から、アニメの制作工程の展示の他、パソコンアニメの制作を体験できるコーナーやアフレコ体験コーナーもあり、好評である。今後は、アニメライブラリーの所蔵資料やシアターでの上映プログラムの充実についての要望がある。
	今後の予測	日本動画協会に運営を委託したことで、資料の提供やシアター上映作品について、会員各社の協力をえられやすくなったが、今後は、新作プロモーションなど、アニメ産業全般の情報発信基地としての機能をもつようになる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 3月の開館以来、修学旅行や区内小学生の見学があった。また、NPO西荻まちメディアに委託し、ワークショップを開催するなど、アニメに対する理解を深める機会の提供ができるようになった。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: アニメーションミュージアムの運営を日本動画協会に委託したことで、民間のノウハウや経験の有効活用を図ることができる。また、複雑な著作権調整の処理がスムーズにできるようになる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 修学旅行やツアーなどの来館者に、見学だけでなく、ワークショップをプログラムとして用意する。その際の材料代を自己負担してもらうことにより、成果物などを持ち帰ることができるようにする。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 資料の収集について、日本動画協会だけでなく、日本アニメーション協会、日本アニメーション学会等からも協力してもらえるように交渉する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(へ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(へ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: アニメーションミュージアムの運営及び企画展の開催、資料収集を日本動画協会に委託している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(へ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 人物アーカイブの充実などアニメ資料の収集を進めるとともに、アニメ関係の情報発信機能の充実を図る。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ベテランアニメクリエイター等アニメーションに携わっている様々なスタッフに歴史や現状、アニメーションへの思いを語ってもらい、それを映像として記録・保存をしていくことで、今後の人材育成や研究に役立てていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 証言してもらいたいクリエイターの多くが高齢のため、時間的にも余裕が無い。今後、日本動画協会やアニメーション協会、アニメーション学会等と連携することにより進めていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	今後も、人物アーカイブをはじめとした資料の収集を進めていくが、今年度と同程度の予算の中で進めていく。